

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)
福岡県立 折尾 高等学校

27

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「地域社会で活躍できる産業人材を育成する学校」 複数学科を有する専門高校として、高い専門知識と技術・技能を身に付け、それぞれの専門分野で主体的に活躍し、地域活性化の原動力となる人材を育成する学校</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人として必要とされる考え方や力を身に付けた人材の育成 ・地域から求められる人材の育成 ・社会人としてのマナーを身に付けた人材の育成 ・地域・社会の変化や課題に対し、創造的に実践する生徒の育成 ・希望進路に向かって主体的に取り組む生徒の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師(専門家)を活用し、専門性の高い授業を実施 ・生徒の自己有用感を高める資格取得と地域交流事業の実施 ・ひいらぎ祭(文化祭)を通してアントレプレナーシップを育成 ・部活動への積極的参加を通して豊かな人間性を育む ・地域社会との連携による「Icanプラン」の実施 ・進学にも就職にも対応した柔軟なカリキュラムの設定
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性と地域への愛着を有している生徒 ・新たなものを創造する意欲があり社会的自立を目指す生徒 ・各学科への興味関心と主体的に学ぶ姿勢を持つ生徒 ・多様な人々と協働し、社会に貢献しようと挑戦する生徒 ・部活動及び生徒会活動へ積極的に参加したいと考えている生徒

学校運営計画(4月)			
学校運営方針	高い専門知識と技術・技能を身に付け、それぞれの専門分野で主体的に活躍し、地域活性化の原動力となる人材を育成する		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>本校に対する地域や中学校の期待は大きい が、多様に変化する社会に対応できる人材育成 に向けて、生徒の大きな可能性を学校として十分 発揮するまでに至っていない。チーム折尾として、 本校の教育活動の充実とともに様々な関係団体と 連携し、新たな教育を創造する必要がある。</p>	専門性の高い授業と生徒の成長につながる学習評価の確立	実社会で求められる知識や技術を理解し、今までの指導方法に執着しない新たな方法を検討・実施する。	
	心豊かな生徒の育成と道徳教育、人権教育の深化	一人一人の生徒を深く理解し、個性の伸長に努め、豊かな人間性の育成と健康の増進を図る。	
	学校行事等を通し、健康・安全に関する知識と実践力の育成	安全に配慮した体育大会、ひいらぎ祭、その他の行事に生徒を主体的に関わらせ、学校への所属感や互いの連帯感を育む。	
	将来を見通したキャリア教育の推進と進路指導の充実	キャリアパスポートの有効活用と生徒自身の可能性を最大限発揮できる進路希望に応じた進路指導を行う。	
	地域の学校としての取組の推進と積極的広報活動	地域から活用される学校、地域の社会資源を活用しながら「生徒の逞しく生き抜く力」等を育む。	

様式3

評価項目		具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	教務課	地域連携を深めた教育課程の編成	地域の行事や活動への参加や外部講師による講義・講演、地域の問題や課題を題材とした授業展開を充実させる。	生徒による授業評価アンケート	
		「指導と評価の一体化」の拡充	定期考査の実施回数を見直し、パフォーマンス課題やルーブリック評価を充実させる。		
		「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業展開	ICTの活用やケーススタディ、ジグソー法等を取り入れた授業改善を図る。		
	庶務課	学校行事・式典などの円滑な運営	各分掌と連携を図りながら全職員が共通認識のもと円滑な運営となるよう支援に努める。また行事の記録・反省をデータ管理して誰もが業務を滞りなく運営できるように工夫する。	・PTA役員からの意見聴取	
		年間・月別行事の連絡徹底	月別行事予定は1か月前までに職員配付とクラス掲示を行う。またHPにも掲載、定期的な更新を行い、広報活動の一助となるように努める。		
		PTAの連携強化	PTA新体制の移行を円滑に行い、各分掌と調整を図って、PTAの連携強化に努めることで「チーム折尾」としての学校力を高める。		
	情報広報課	情報共有の円滑化	他学年・分掌や他教科の取組や指導方法等がリアルタイムで見れるようにOneNoteや共有フォルダの活用を推進する。		
		効果的な情報発信	様々な相手の立場に立って、適切な時期に正確な情報をHPやメディア、一斉メール等に発信する。		
		生徒による広報活動の充実	校内で実施する体験入学や説明会だけでなく、校外で行われる出前授業や進路説明会についても生徒を派遣して実施する。		
生徒育成部	生徒指導課	心豊かな生徒の育成と校訓を基軸とした人格形成	全職員が統一した指導観のもと、挨拶励行等の成長を促す指導や豊かな人間性の育成に努め、問題行動等の未然防止に努め、おりこうブランド発信者としての自覚を育てる。		
		学校行事等を通じた実践力の育成と社会貢献の意思の育成	学校行事、生徒会活動、各種委員会活動、部活動における各々の役割を明確にし、リーダーシップ、フォロワーシップを意識した行動を促す。		
		自他ともに価値ある存在として互いの良さを尊重し、命を守る意識高揚	学年、修学課、人権教育推進委員会と連携し、いじめの未然防止・早期発見に努めるとともに大切な命を守る意識を高めていく。		
	保健厚生課	生涯を通じた健康の保持増進の態度の育成	生徒健康診断を適切に実施し、心身の健康の保持増進の指導・支援に繋げる。	学校満足度アンケート	
		個に応じた指導・支援体制の強化	スクールカウンセラーやいじめ防止対策委員会・人権教育推進委員会などの関係教職員、関係組織と連携を図り、情報共有を行い、個にあった指導・支援を行う。		
		安心安全な教育環境の整備	感染症対策の実施、清掃の徹底、防災の意識を高める保健員会、厚生委員会、整美委員会の活動を行う。		
	修学課	生徒・家庭に対する、きめ細やかな相談体制の確立と、支援体制の強化	誰もが相談しやすい体制を整え、周知を図る。修学課を中心に、人権委員会・ケース会議で個々の生徒の情報共有を密に行い、家庭や地域と連携しながら、個に応じたきめ細やかな支援を行う。	・人権・同和教育に関する生徒アンケート ・人権意識に関する教職員アンケート	
		教職員の人権に関する知識や意欲・態度・実践力の育成	校内研修の改善・充実を図るとともに、校外研修での成果を全職員で共有し、教職員の人権感覚の向上と、人権学習教材の効果的な活用に結びつける。		
		差別を見抜く感性と、自他の人権を守ろうとする意志と実践力を育成する人権教育の推進	自分も他の人も価値ある存在として尊重し、互いの命を守る意識を高めるために、人権教育特設授業の充実を図るとともに、全教科・全領域での人権尊重の視点に立った教育活動を実践する。		
キャリア教育部	進路指導課	生徒の可能性を引き出すキャリア教育の推進	キャリアパスポートの計画的活用、工場見学・大学見学・インターンシップなど校外における体験学習の計画・実施、進路セミナー・進路ガイダンス・公務員講座・その他進路行事の充実を図る。	・進路希望調査	
		希望進路の実現に向けた進学指導と就職指導	進路希望調査にもとづいた進路別集会を通して丁寧な進路指導を行う。放課後課外、小論文指導、面接指導、夏の進路対策講座、応募前職場見学などを学年・教科・外部機関と連携して実施する。		
		多様化する希望進路に対応するための体制づくり	生徒の進路選択や進路実現に還元できる職員研修会を計画・実施する。教職員対象の学校説明会や企業説明会の情報提供、FINEシステムやHandy進路指導室などを活用した情報共有を行う。		
	研修図書課	実践につながる効果的な研修体制の構築	時代の変化に伴う、ICT活用を含む授業改善や生徒指導に関わる人権課題など、多岐にわたる課題について、実践に生かせる効果的な研修会を、他分掌と協力して計画・実施する。	・生徒アンケート(図書館)	
		研修内容や実践についての情報共有	校外研修会や公開授業等で学び培った知識や、実践に関する情報を、校内職員研修会や研修録によって共有し、教育活動改善に生かせるよう提示する。		
		学校図書館の活用及び読書活動の推進	学習活動に生かす図書館運営を推進し、朝の読書のあり方を再確認するとともに、図書館の利用及び図書の貸し出しを促すことで、生徒の読書習慣の定着を図る。		

様式3

第一学年	校訓を体現し地域に愛される生徒の育成	礼節 礼儀作法を学び学校生活で実践する。誠実 嘘や偽りがなく謝罪ができる。品性 道徳的に優れた人格を形成する。校外外で自らを律し、自覚ある行動を取るよう促す。		
	基礎学力の定着	授業に集中して取り組めるよう、クラス環境を整え、共に学び共に成長できる雰囲気づくりに努める。高度な検定取得に積極的に挑戦させる。		
	学校行事で核となるリーダーの育成	部活動生やクラス委員を中心に学校行事を運営していく。そのため定期的な集会や会議を実施し、リーダーとしての自覚を育成する。部活動生が様々な場面で学年を引っ張り、盛り上げる。		
第二学年	所属感や連帯感の育成	体育大会や文化祭、修学旅行に主体性を持って関わり、自分の役割を果たすように促す。生徒への声かけ、面談等を通して生徒理解に努め、各生徒が力を発揮できるような場面を設定する。	・生徒アンケート	
	学習意欲の維持・向上	将来に向けて学習することの大切さを自覚させ、積極的な授業への参加を促す。また、資格取得・検定合格に向けて目標を持ち、努力が継続できるよう、補習などで十分に理解できる機会を設ける。		
	進路実現へ向けての準備を支援	インターンシップやオープンキャンパスへの参加を通じて、進路実現のために必要な力とは何か、それを身に付ける具体的な方法を見つけられるように支援する。		
第三学年	自覚ある行動の推進	各クラスのリーダーを中心とし、学校行事や日常の学校生活をはじめ校外外を通して下級生の模範となる行動と発言ができるようにする。	・保護者面談・進路希望調査・生徒タブレット等	
	社会に通用する人材の育成	校訓「礼節・誠実・品性」を基軸とした人間性を育成し、ルールやマナーを遵守する規範意識を高める。		
	希望進路の実現	生徒・保護者との対話を通して、目標や希望を明確にし、失敗を恐れず希望進路へチャレンジする。		
商業科	主体的・対話的で深い学びの実践	ICTを活用した効果的な学習指導を推進し、指導と評価の一体化をすすめ、さらなる教科の指導方法・指導内容の工夫改善に努める。	・授業評価アンケート ・学校評議員からの意見聴取	
	専門的職業人の育成	進路に生かせる高度な資格取得を推奨するとともに、職業人として必要な資質・能力を育成する。		
	体験活動等とおしたビジネス教育の深化	学校行事等を中心に豊かな人間性を育み、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
家庭科	専門性の高い学び	ICTの活用法を教科内で共有し、授業の改善や観点別評価の効率化を図る。受検する検定の精査や各科目の課題を見直し、十分な時間を取って専門性の高い学びを実践する。	・授業評価アンケート ・保護者面談	
	キャリア教育の推進	近隣の大学や卒業生の状況等、進路指導に関する情報を発信しキャリア支援を強化する。地域社会や企業との連携を図り、学科全員に呼びかけ、多くの生徒が体験できるような取組を取り入れる。		
	時代のニーズに合わせた広報活動	ホームページやSNS等、さまざまな媒体を通して、学科の取組や特色のある授業内容などの情報を生徒の目線で迅速に発信する。		
事務部	予算の有効活用と迅速な執行	限られた予算で最大限の効果・成果を出すため、予算の有効活用を行う。	・予算管理	
	光熱水費など管理費の節減	電気代の高騰により分権予算への圧迫が大きいため、無駄な電気は使用しない等より一層の節電節水に努める。		